

日本代協 ニュース

INDEPENDENT INSURANCE

AGENT OF JAPAN INC.

< 発行者 > 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 会長 岡部繁樹 東京都千代田区有楽町 1-12-1-321 TEL 03(3201)2745

日本代協ホームページ(URL) <http://www.nihondaikyo.or.jp>

平成 26 年度 第 3 回理事会開催 ~ 8/8 理事会での主な報告・審議事項 ~

8 月 8 日(金)に日本代協理事会が開催され、下記事項が報告・審議されました。概要は次のとおりです。

【主な報告事項】

1. 代理店賠償「日本代協新プラン」の更新対応

募集ツールの配信：2014 年 8 月 15 日一括発送

募集締切日：2014 年 9 月 5 日(金)

勤務型代理店等 3 者間スキームを適用した代理店の単独での加入はできず、統括代理店を通じた申込みとなる。

6/末時点における認定保険代理士資格を割引とする。

2. 懇談会実施報告

損保 8 社・損保協会ならびに業界紙懇談会の実施報告があった。主な内容は次の通り。

・7/9(水)に「損保 8 社・損保協会との懇談会」を開催。

当会から会員増強等について各損保社への要請を行った後、各社から取組状況についての報告があり、情報の共有化を行なった。

・7/10(木)「業界誌との懇談会」を開催。業界の旬のテーマについて意見交換会を行なった。

3. 事務局スタッフ研修会の実施

7/18(金)終日、損保会館にて 35 代協 38 名の参加者を得て「事務局スタッフ研修会」を開催した。ハードスケジュールであったが、活発な情報交換が行われ、参加者にとって有意義な研修になった。

4. 法人代理店の社会保険完備報告

厚生年金に入っていない中小零細企業など約 80 万社を特定し、厚生年金に加入させる政府方針が出ている。損保代理店としては、使用人の適正化に取り掛かっている最中であるが、平成 27 年 4 月以降には加入指導~立入検査が実施される見込みであり、早期の対応が求められる。

【主な審議事項】

1. 被災地代協代理店アンケートの実施

地震保険の認定結果として「全損」が最も多く出た 3 県(宮城県 231・岩手県 104・福島県 245)の代協所属の

代理店を対象として、昨今の代理店の実態を把握し、日本代協としての支援のあり方や今後の代理店経営のあり方について検討するために、「被災地代協代理店アンケート」を実施する。実施に当たっては野村総研の参画を得るとともに、現地代協メンバーとの連携を図っていく。

2. 損害保険トータルプランナー認定者への対応策

今年度の「損害保険トータルプランナー認定授与式」は以下の要領で開催予定である。

<主 催> 損保協会 <後 援> 日本代協

<開催地> 東京開催

<日 程> 10 月~12 月(候補日は 11/28 または 12/5)

3. 三者間契約スキームを適用した募集人の会員資格

三者間契約スキームを適用し、新たに誕生する勤務型代理店等の代協の会員資格は、使用人適正化の移行・過渡期が終結する時(平成 27 年 4 月~6 月に開催される各代協の総会)までに、登録状況等の実態を確認のうえ、決定することとする。それまでの間は、勤務型代理店等の新規入会は凍結することとする。

<ご参考> ~新執行部(理事)のご紹介~

全 22 名 (敬称略)

(会長) 岡部 繁樹 (副会長) 高梨 重勝、小出 富晴、辻本 完治、小平 高義(理事) 木内 彰、大藪 邦嗣、津田文雄、川本 吉成、小澤 正志、陣内 栄、木下幸太郎、林 雅弘、山口 史朗、山中 尚、磯 利二、門 靖夫、野元 敏昭、小見 隆彦(監事) 蜂巢 忍、渡辺 眞一、吉川 正

<平成 26 年度>

第 4 回コンベンション実施要領決定!!

実施日：平成 26 年 11 月 14 日(金) 12:30 ~

11 月 15 日(土) 12:00

場所：東京(昨年と同会場)

テーマ：「代理店のコミュニケーションのあり方を考える」

基調講演講師：タイトル(仮)「~現役道化師から学ぶ、組織・社内環境をプラスに変えるコミュニケーション手法~」

講師：大棟耕介氏

(NPO 法人日本ホスピタルクラウン協会 理事長会長)

開催内容：2 日間 3 部構成・参加人数も昨年同規模予定

懇親会の部：初日 18:00 ~ @第一ホテル東京(新橋)

分科会の部: 11 月 15 日(土) 10:00 ~ 12:00

@ 損保会館会議室・ホテル聚楽 (神田淡路町)

代理店賠償 “日本代協新プラン”

~ 加入率 100% を目指して ~

代理店賠償“日本代協新プラン”は、来る 10 月 1 日が満期となります。募集期間は 8 月 15 日 ~ 9 月 5 日の 22 日間です。同プランは、万一の場合に備える代理店経営の「プロテクター」として必須の備えとなっております。是非とも、ご活用ください。本年度も、昨年同様の補償内容、保険料据え置きでご案内できることになりました。(認定保険代理士割引も据え置き適用) 8 月中旬(お盆明け)頃に新規案内、継続書類を一括送付いたします。未加入の代協正会員へのお奨めと、正会員増強の手段の一つとして、積極的に活用をお願いいたします。保険契約内容の概要は下記の通りです。

- <保険名称> 専門業務事業者賠償責任保険
- <引受会社> エース損害保険株式会社
- <保険期間> 平成 26 年 10 月 1 日 ~ 1 年間
- <保険契約者> 日本損害保険代理業協会
- <加入者> 代協正会員

ご加入にあたって、留意いただき事項

代理店賠償における勤務型代理店等の取扱い

原則、勤務型代理店等は統括代理店を通じて加入

(また、所謂、勤務型代理店・被統括代理店等は募集スタッフであるため、募集人の合計人数にカウントする)

本年度の「勤務型代理店等の取扱い」(経過措置)

- ・継続加入: 所謂、勤務型代理店等(含む委託型募集人)で代協正会員である既加入者は、継続加入できる。
- ・新規加入: 保険始期 10 月 1 日以降に、単独で勤務型代理店等(含む委託型募集人)が新規に代理店賠償に加入することはできない。

代理店賠償特集

(NEWS) 事故報告で、こんな事案が増えています

1. 契約者から依頼 代理店が手続きを失念したケース
 - ・口座振替不能関連: 事故トラブル・年齢条件変更手続き
 - ・家族限定の対応・更改手続き忘れ・賠償責任特約漏れ(手続き誤りは、自動車保険で多く発生しています。)
 2. 契約者から申し出 トラブルが増えている事故報告
 - ・自動車保険: 事業用積載動産の説明誤り(盗難不担保)
 - ・代理店扱い変更時: 他の代理店への顧客情報漏えい
 - ・(保険料トラブル)ノンフリート等級: 引継ぎ不可事案
- 保険金支払いには、保険業法 283 条の適用が条件です。

損害保険大学課程「専門コース」受講申込み
(受講申込最終状況)

- ・2014 年度 最終受講申し込み者は 130 名(会員 76 名、非会員 54 名)でした。チャンネル別申込内訳は下記の通り
- ・プロ 81 名・金融機関代理店 13 名

・機関代理店 23 名・整備工場 4 名・社員 9 名
 ・なお、8/1(金)付で 776 名が新たに損害保険トータルプランナーに認定され、合計で 7,021 名になりました。一方で、まだ 2,055 名の未申請者がいます。早期の手続きもお願いします。

代協別・正会員増強自主目標が確定

H26.3 月末 専業代理店数・組織率 37.6%

代 協	専業代理店 実在数 (A)	正会員数 (B)	組織率 (B)/(A)	増強自主 目標
北海道	1,561	558	35.7%	600
青 森	411	125	30.4%	130
岩 手	326	105	32.2%	112
秋 田	296	101	34.1%	106
宮 城	680	222	32.6%	237
やまがた	305	161	52.8%	169
福 島	545	246	45.1%	254
新 潟	601	178	29.6%	200
長 野	587	228	38.8%	243
群 馬	602	243	40.4%	258
栃 木	573	120	20.9%	130
茨 城	779	230	29.5%	250
埼 玉	1,366	374	27.4%	400
千 葉	1,419	375	26.4%	390
神奈川	1,552	439	28.3%	460
山 梨	244	117	48.0%	122
東 京	3,031	868	28.6%	900
静 岡	1,078	288	26.7%	306
愛 知	1,666	591	35.5%	616
岐 阜	555	219	39.5%	234
三 重	508	215	42.3%	223
富 山	296	145	49.0%	150
石 川	295	165	55.9%	170
福 井	241	130	53.9%	133
滋 賀	245	118	48.2%	127
京 都	627	350	55.8%	352
奈 良	283	123	43.5%	133
大 阪	1,885	925	49.1%	1,000
兵 庫	1,032	268	26.0%	290
和歌山	304	186	61.2%	191
岡 山	519	345	66.5%	355
鳥 取	179	109	60.9%	113
島 根	171	58	33.9%	68
広 島	662	226	34.1%	236
山 口	360	166	46.1%	172
徳 島	228	113	49.6%	119
香 川	236	139	58.9%	144
愛 媛	363	146	40.2%	151
高 知	196	112	57.1%	117
福 岡	1,380	545	39.5%	560
大 分	335	145	43.3%	150
佐 賀	214	108	50.5%	113
長 崎	334	168	50.3%	173
宮 崎	301	161	53.5%	166
熊 本	439	240	54.7%	245
鹿児島	398	164	41.2%	169
沖 縄	405	140	34.6%	150
全国 合計	30,613	11,498	37.6%	12,087